

【記者レク】7月21日

健康福祉部長／昨日に続き、49例目の感染を確認。20歳代女性、唐津市在住。県外の事業所で事務職。7月19日に38度の発熱。県内の医療機関を受診。翌20日も37度の発熱のほか症状があり、帰国者・接触者相談センターに相談し、帰国者・接触者外来を受診。

本日PCR検査で陽性を確認後、県内の感染症指定医療機関に入院。現在は37.5度の発熱と味覚障害、嗅覚障害がある。区分は軽症。

7月11日に福岡市内で友人8人と会食。その中の1人が、本日、福岡市で陽性判明。このことから、11日の福岡での会食が、感染の場と考えられる。

その他7人のうち、2人が佐賀県在住。福岡市から、接触者としてPCR検査の依頼があった。今後、検査をしていく。

発症の2日前、17日は出勤、18日は出勤後、福岡市で友人と会食。現時点で、濃厚接触者は同居の父親40代、母親50代。現在、両親は症状がない。

さらに行動を調査し、濃厚接触者の確認をしていく。

19日に受診した医療機関で接触のあった職員3人は、マスクなど標準予防策をとっていたが、念のためPCR検査を実施予定。

2日連続の感染となった。今回も、福岡との往来での感染。感染の多い地域での活動は、感染防止を意識した行動を取ってほしい。